

令和 2 年 1 2 月 1 8 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市補助金等審議会  
会長 山 田 聡

令和 3 年度予算における補助金等について（答申）

令和 2 年 1 0 月 2 7 日付け流財調第 1 9 8 号で諮問のあったこのことについて、下記のとおり答申します。

## 記

### 1 はじめに

今般、流山市補助金等審議会（以下、「本審議会」という。）に対して、流山市長から、「令和 3 年度予算における補助金等について」諮問がありました。

令和 2 年 1 0 月 2 7 日付けをもって流山市長から新たに委嘱を受けた本審議会委員 7 名は、この諮問に対し、市関係部局が作成した令和 3 年度から令和 5 年度を内容とする補助金等適正化実行プラン及び附属説明資料等を基に、各関係部局から説明を聴取し質疑等を行うとともに内容を検討し、審査・評価を行いました。

### 2 審査対象補助金等の審査結果について

審査の結果、審査対象補助金等に係る総合評価は、次のとおりとした。

#### (1) 総合評価

A 評価（妥当なもの）	5 件
B 評価（おおむね妥当なもの）	0 件
C 評価（検討を要するもの）	1 件
D 評価（不認可とすべきもの）	0 件

(2) 個別評価

補助金等名称	総合評価・概要・意見等
<p>自治会館建設事業補助金</p>	<p>【総合評価】 <u>「A」(妥当なもの)</u></p> <p>【概要】</p> <p>本補助金は、自治会館の建設等に要する経費の一部を補助するものである。</p> <p>増加の要因は、令和2年度が、新築1件の申請に対して、令和3年度は、新築2件の申請となったことで補助対象金額が増額したことによるもので、妥当と判断した。</p> <p>【意見等】</p> <p>自治会館は地域コミュニティの相互交流の活性化のみならず、災害時の避難拠点や選挙の投票所としての機能などもあることから、補助金の対象として妥当であると考えられる。</p> <p>限られた予算の中で補助金を交付するためには、要望の事前把握の徹底、年度ごとの件数のばらつき調整が必要である。</p> <p>自治会館建設を望む自治会が、財政的な理由から建設できない自治会や近隣に自治会館に代わる施設がなく、活動が制約されている自治会がある。</p> <p>本制度は開始から約半世紀にもなろうとしており、既得権益化、マンネリ化の温床にならないよう制度設計を見直す時期ではないかと思慮する。市当局と各自治会が活動の実績と自治会補助金のあり方について率直な意見交換を行ってほしい。</p>
<p>福祉タクシー利用補助金</p>	<p>【総合評価】 <u>「A」(妥当なもの)</u></p> <p>【概要】</p> <p>本補助金は、本市在住の重度障害者が利用するタクシーの料金の一部を補助するものである。</p> <p>増額の要因は、タクシーの初乗り運賃額の変更や人工透析患者への補助の拡大等から増額となったものであり、妥当と判断した。</p>

	<p>【意見等】</p> <p>障害者が社会で活躍できるよう様々な支援を行うことは、ますます重要な施策となっている。</p> <p>利用が適切であるかといったチェック機能の点に関して、これまで足りない点があると思われる。（今後アンケート調査を実施することで対応予定）</p> <p>今後、更新時の申請を適正に審査し、制度がより有効に活用されるよう運用を願いたい。</p> <p>また、40年を経過している長期補助事業であり、用途を把握することにより社会通念や実態などに合わせた補助金のスクラップ&amp;ビルドを検討することは今後必要であろう。</p>
<p>再生資源物回収 事業奨励金</p>	<p>【総合評価】 <u>「C」（検討を要するもの）</u></p> <p>【概要】</p> <p>本補助金は、市から登録を受けた再生資源物収集運搬業者が収集した紙・布類・金属類・ビン類等の量に対して奨励金を交付するものである。</p> <p>増加の要因が、説明を受けた限りでは不明確であり、検討を要するものと判断した。</p> <p>【意見等】</p> <p>奨励金制度自体に異論はなく「A」評価である。</p> <p>奨励金の増額要求に対しては、集団資源物回収リサイクル事業の必要性と再生資源物収集運搬業者が抱える事業継続への課題の存在は理解できるものの、今年度と比べて約1億円もの増額になることへの疑問がある。来年度の積算資料で、回収事業者、買取り事業者のデータを見る限り値上げを理解できる部分はあるが、その先の製品を製造する企業の実態把握ができない状況にある。また、今回の増額をすべて認めた場合、今後回収事業者の値上げ要求を安易に容認してもらえと思われることになりかねない。</p> <p>また、これまでの回収事業者の現状について、詳</p>

	<p>細な説明がなく判断できなかつた部分があつた。</p> <p>つては、回収事業者へのヒアリングを通して回収事業者の企業改革を促し、直接経費の抑制に努めてもらうとともに、奨励金の適正な額を予算に反映してもらいたい。</p>
<p>農林水産業の振興に関する補助金（高生産推進事業費）</p>	<p>【総合評価】 <u>「A」（妥当なもの）</u></p> <p>【概要】</p> <p>本補助金は、意欲のある農業者の育成及び都市農業の振興を図るため、施設の整備費用や効率を上げる機械の導入を推進し、生産性の高い農業構築を目指して補助を行うものである。</p> <p>増加の要因は、過去2年間上限を定めた規則より低く推移していることから増額したもので、農業の振興に関する補助金として妥当と判断した。</p> <p>【意見等】</p> <p>本市は、家族経営の農業者が多く、効率化・省力化機械の導入が一次産業としての農業を支える上で重要であるという視点は理解できる。</p> <p>都市化が進展するなか、縮小傾向にある市内農業を守るため、地域の環境維持と地産地消の観点から、農業補助金継続の必要性は高い。そのため、流山市が進むべき農業のあり方について、しっかりと見通した上で農業者への支援を行うべきである。</p> <p>補助金の額の交付については、最初に予算枠ありの感がある。補助率実質12.2%という現状では流山の農業を守り育てることは難しく、最近の天災害を考え、十分な予算を付ける必要性を感じる。</p>
<p>企業等立地促進奨励金</p>	<p>【総合評価】 <u>「A」（妥当なもの）</u></p> <p>【概要】</p> <p>本奨励金は、本市への企業等立地に対し、固定資産税及び都市計画税の納付相当額を、一定期間助成することで企業等の立地を促進し、市民の雇用機会</p>

	<p>の拡大と税収の確保を図るものである。</p> <p>増加の要因は、交付対象企業が3件から4件に増加したことによるもので、妥当と判断した。</p> <p>【意見等】</p> <p>市の税収の確保、市民の雇用機会の拡大の視点からも、企業立地を促進するための奨励金は必要である。</p> <p>立地促進は税収のみならず、多様な人々の転入による市の活性化に資する。</p> <p>新規に交付対象企業が1件増加したことに伴う増額は妥当であると考えられる。</p> <p>引き続き、企業等立地の誘致に向けて、流山市の“魅力”の積極的な発信を期待したい。</p>
<p>児童生徒大会派遣事業補助金</p>	<p>【総合評価】 <u>「A」(妥当なもの)</u></p> <p>【概要】</p> <p>本補助金は、市内小中学校児童生徒が学校及び本市を代表して県・関東・全国の各総合体育大会及び文化的コンクールに出場するための旅費等を派遣費として補助するものである。</p> <p>増加の要因は、これまで「予算の範囲内で補助する」としていた派遣費用が満額補助されていない状況であったことから、自己負担なしの満額補助となるよう予算化したものであり、他市の状況等からも妥当である。</p> <p>【意見等】</p> <p>保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒の可能性を広げるためにも、補助金は妥当と考える。</p> <p>今回の増額の狙いは、近隣市と同様に、児童生徒の保護者の自己負担金がなく大会派遣ができるようにということである。児童生徒数の増加の現状や、他市の補助の状況、総合計画・教育振興基本計画の趣旨からも妥当であると考えられる。</p>

	近隣市と比較すると補助金額は少ないが、学校教育及び青少年教育全体の中での本制度のあり方が現状のままで良いか一度検討すべきと考える。
--	---

### 3 おわりに

この度の市長諮問に対する総合評価は、A評価（5件）、C評価（1件）となった。

人口の増加が続く流山市では、教育関連経費をはじめ、子育て支援策等の各種福祉関係予算の伸びが今後も続いていくことが想定され、行政改革・改善が求められ、当然のことながら補助金等もその例外ではないと考える。

補助金等の原資は、市民の貴重な税金により賄われているものであり、本市の活性化、市民生活の向上等に有効に活用されるためのものでなくてはならない。

したがって、事業実施に当たっては、市民目線を基本として、さらなる市の活性化及び市民生活の向上に繋がる有効かつ適正な執行となることを切に願うものである。

本答申は、市長からの諮問を受け、委員全員が真摯に議論し、検討を加えた上での貴重な意見等が含まれているもので、令和3年度予算編成に反映いただくよう要望する。

令和2年12月18日

流山市補助金等審議会

会長 山田 聡

副会長 神田 玲子

石井 孝

笠間 雄三

高橋 直洋

中村 哲之

山本 隆一郎